

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個々のペースを大切に地域や本人を取り巻く人々と共にその人らしい暮らしを大切にするという観点から「ゆっくりと、一緒に楽しく、いきいきと」を理念としている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体会議や研修を通して理念を振り返り、職員全体で共有し、意識できるように心がけている。		実際のケアの中に理念を根付かせる事が出来るよう個別の研修を通して振り返り日頃のケアにいかすべく取り組んでいる。
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	毎月発行の新聞に理念を明記。地域の文化祭等、発表コーナーに理念を掲げている。		個々の状況に合わせて地域の中に出かけたり、見学時に地域の中で暮らし続ける重要性について伝えるようにしている。
理念と共有 3項目中 3 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方の中には、ボランティアとして活動して下さる方や、施設の大家さんもおられ、徐々に顔も知りの方も増えている。		育てた草花を届けて下さったり、畑の作物を頂くこともあり、今後も気軽に交流できるよう働きかけていきたい。
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入。毎年秋祭りでは神輿を披露してもらったり、文化祭や公民館の行事に出かけたり、幼児との交流も継続している。	○	自治会の回覧等を通じてホームの様子を伝え気軽に立ち寄り頂ける様な関係を築いていきたい。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域住民の見学を受け入れ、認知症や介護保険に関する学習会をしたり個別の相談にも対応している。	○	キャラバンメイトの研修を職員が受講し、地域の認知症ケアの担い手として、一人ひとりが意識できるよう取り組んでいきたい。
地域とのつきあい 3項目中 3 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価後全体会議で評価内容について検討を行った。家族会で課題や取り組みについて説明した。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価後、結果を公表し意見交換を行った。		日々のケアや行事、体制に対する意見を聞き、出来るだけ反映するようにしている。(避難訓練・スタッフ名の周知について・コスモス祭り等)
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	制度に対する疑問点や、運営に関して些細なことでも相談したり、助言をうけている。		市の担当者と電話や訪問時に情報交換したり、GH間交流の相談を行った。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人内の研修に参加している。	○	職員全体で系統だった研修をおこない、制度に対して理解し、必要時に助言できるようにしていきたい。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修をおこない、個々に振り返りテーマを決め研修をおこなっている。		一人一人の尊厳について、常に意識した関わりができるよう研修を深めている。(言葉かけのスキルアップ研修)
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、時間をかけ、わかりやすい言葉で説明するように心がけ、疑問点が無いか確認しながらすすめている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱、苦情相談窓口を設置。ケアプランや日常の支援に対するアンケートを行った。	○	介護相談員については、相談員の都合で休止しているが、再開にむけて、市に要請していきたい。
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1か月に一度、日頃の様子やおこぼかいの出納を記録したお手紙を送付。異動については新聞でお知らせしている。必要時には電話等で報告、相談するようにつとめている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱、苦情相談窓口を設置。外部評価公開時には苦情受付用紙を配布。面会時には気軽に意見がいただけるよう声を掛けている。	○	直接意見や提案を受ける事は少ない。家族会を活用するなど、意見を出しやすい工夫をしていきたい。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や日頃のカンファレンスを通して意見交換し、可能なものに関しては話し合いのもと改善に努めている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務シフトを変更し柔軟に対応できるよう調整につとめている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の個々の事情による離職や休職で交代を回避することは困難である。法人内の異動は実情をふまえていない。		退職による異動がある場合も職員の顔ぶれが大きく変わらないようにしている。給与面や休憩時間の確保等待遇改善にも取り組んでいる。
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修、実践者研修、リーダー研修等段階別研修に参加している。法人内外の研修案内と個々のスキルアップ研修で課題を設定しOJTに取り組んでいる。	○	人員体制の事もあり、職場外への研修の参加が難しい。研修計画をたて、外部の講師を招くなど機会の確保に努めたい。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海グループホーム協議会の交流会に参加。近隣のホームの管理者と交流を始めている。		地域のグループホームとの交流、情報交換の重要性を認識しているが実現にいたっていない。職員の交流へ発展するよう連携を深めていきたい。
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	福利厚生による、食事会やボーリング大会の開催。職員の増員。		職員の増員による休憩時間の確保。日々の会話を通して、職員のしんどさを気付けるよう努めていきたい。
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格手当での支給。研修費の補助を行なっている。処遇改善一時金の支給。		個別面接において、日々の取り組みや課題について評価し、個々の思いについて話を聞く機会を持った。
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接には時間をかけ、本人の思いに気づけるよう言葉やしぐさ等から知る努力をしている。		本人から聞けない場合でも、家族の話等から推し量るようにしている。可能な限り本人にも見学に来ていただけるよう伝えている。
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接、契約時には時間をかけ、家族が話やすい声かけや雰囲気づくりにつとめ、ゆっくり話を聞き思いを受け止めるようにしている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用案内やホームの説明だけでなく、他の適切だと思える施設の紹介や、疑問点、不安に答えられるように心掛けている。		緊急度の高い方については、相談機関の紹介や、専門医の受診を提案している。
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	五日間程度のおためし利用ができるようにしている。入所にいたる理由付け等本人が納得してホームの生活を始められるよう家族と相談し、慎重に進めるようにしている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作りや季節の行事を通して暮らしの知恵や技術を教えていただく機会がある。		餅つき、畑でとれた野菜の調理を一緒にしたり、年長者として相談にのっていただいたり、新聞配りなど役立つ場面をつくり、一方的な介護にならない様になっている。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン開示時や面会時を通じてご本人を中心に共に協力して生活を支えていきたい思いを伝え、連携に努めている。		外泊時や外出時に家族に本人の思いを聞いてもらえるよう依頼し、協力を得ている。
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の生活史に目をむけ、配慮した上で負担に感じられることなく良好な関係を築き継続できるように支援している。		本人の希望時には家族に電話をしたり手紙をかいたりしていただいている。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	友人、知人の訪問時には、気軽に挨拶したり、 居室に案内するなど訪問しやすい雰囲気づく りを心掛けたり日頃のご本人の様子を伝えたり している。	○	すべての方が地域在住の方ではない ので交流が難しい場合がある。自宅へ の外出、外泊を提案し、協力している。
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	お互いに助け合ったり、周りの様子をみたり、 話をきいたりして一緒に暮らす仲間で あることを感じられるよう橋渡しをしてい る。		体調を崩している方をきづかったり、外 出から帰った方をでむかえたり、自然 な形で関係作りができています。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去時には困ったことがあればいつでも 相談にのることを伝え、入所先や入院先 へ面会に行くなどしている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別にゆっくりとした関わりの中から、本人の言葉や表情から本人の思いに近づけるよう努めている。		言葉かけや「待つ」ことの大切さを学び、本人の意思を確かめて支援できるよう努めている。今後も継続していきたい。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時には、本人や家族に生活歴や好きなもの嫌いなものシート等の記入を依頼、入居までの暮らしの把握に努めている。		面会時やケアプラン開示時に聞くようにしている。
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録や、アセスメントシートを活用し精神、身体面から総合的に把握するようにしている。		主治医、訪問看護師に相談しケアに結び付けるよう密に連携を取っている。
一人ひとりの把握 3項目中 3 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン開示時や面会時に課題を共有しケアの方向性について話し合う機会を設けている。		ケアプラン見直し前にアンケートで意見をきき、プランを立てている。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	年間3回の見直しを行っている。変化に応じてカンファレンスを行い、計画自体を見直すか、当面の変更に関してはカンファレンスシートで周知できるようにしている。		毎月ユニット会議時カンファレンスを行い日頃の変化に対応できるように心がけている。早急な対応が必要な時は、入居者連絡ノートを使用し意見交換や周知している。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録、情報ノートで個別の情報を共有し、支援している。それらをもとにモニタリングを行いカンファレンス後介護計画を見直している。		ケアプランと連動してケアを意識できるよう記録用紙の検討を重ね、改訂している。
介護計画の作成と見直し 3項目中 3 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接のデイサービスとの交流、法人内の医師、看護師、理学療法士等に日々の生活上の相談をし、アドバイスを得ている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進委員(民生委員、ボランティア)や警察、消防、小学校等と連携、協力を得ている。		地域のボランティアには積極的に活動に参加協力を得ている。
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険で他のサービスの利用はできない。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターとの協働の事例はない。		権利擁護の必要な入居者に対しては、社会福祉協議会と連携して支援を行っている。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	本人、家族と相談し、かかりつけ医から継続的な支援が受けられるよう連携をとっている		必要に応じて主治医と家族が直接話し合う機会が持てる様調整している。
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要時、家族、主治医と相談し、認知症専門医の受診ができるよう支援し、介護について相談、助言を受けている。		受診時には職員が同席し、ホームでの状況を伝え、アドバイスを受け適切に支援できるようにしている。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションと契約、週1回の訪問と24時間体制で支援をうけている。		隣接するデイの看護師にも緊急時を含め、相談協力を得られる体制を整えている。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	訪問看護ステーションと契約、入退院時にはカンファレンスにも参加、ホームでの生活の再開に向けて助言を受けている。主治医とも連携をとり退院後も不安なく生活できるよう支援している		入院時には同行し、ケアプランを提示し、日頃の支援方法を具体的に伝えるようにしている。
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	個々の実情にあわせ十分に話し合いができるよう機会を設けている。主治医を交えた話し合いもおこない、方針が共有できるよう努めている。	○	ケアプラン更新時、面会時、必要に応じて話し合いを重ねている。確実に方針を共有できるよう記録用紙等を整備していきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	個別の実情にあわせ、ホームでどこまでできるか、主治医、看護師と相談し家族に提示している。その時々で家族と十分話し合う時間がもてるよう努めている。	○	記録等を整え、万全に期する体制をとれるようにする。
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去時には本人の状況、ケアの内容についての情報を提供し、変わらない生活の継続のために家族や担当者との話し合いの機会を設けている。		
地域資源との協働 10項目中 10 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	会議や研修を通して言葉かけについて個々が振り返る機会を設けているが更に質の向上が必要。個人の情報はロッカーに保管。		介助時の声かけ等、職員一人一人が尊厳について常に意識できるようさらに研修を重ねていきたい。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	できるだけゆっくりとした関わりを心掛けているが業務に流れてしまうことがある。		認知症の特性について研修し状況に応じた声かけやコミュニケーションの方法について再考した。
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームにスケジュールはないが、個々の希望に十分添えていないこともある。	○	「そのひとならではのプラン」にむけて、想いを知るための視点の重要性について話し合った。支援に結び付けることが出来るような取り組みをすすめていきたい。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 2項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人らしい髪型や服装の好みなど本人や家族に聞きながら支援している。理容は希望があれば、訪問の理容師に切ってもらおうよう手配している。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は厨房で一括調理している。配膳や片付けは一緒に行っている。食事と一緒にたべている。		食事作りの取り組みは日常的には行っていない。
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつや飲み物は数種類の中から聞いたり、相談しているが、個別の対応はできていない。本人の状況にあわせ工夫はしている。		食事作りの取り組みは日常的には行っていない。肉を魚に変更したりおにぎりにするなど食べやすい工夫をしている。食事は一緒に食べている。
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	チェック表を使用して個別のパターンにあわせて必要があれば誘導している。		パットや屋間は布パンツを使用するなど快適に過ごしていただきトイレで排泄できるよう支援している。
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は午後から夕方までの対応になっている。希望があれば出来るだけ添うように、又無理強いしないようにしている。		リフト浴使用者に関しては利用時間に制限があり、希望に合わせる事が難しい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個別のリズムを損なわないよう支援している		ホールの1角に本人のリラックスチェアを置きゆったりできるスペースをつくっている。
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来ることをみきわめ、無理のないように役割をもって生活できるよう支援している。		希望して宝くじを買いに行き、引き換えに行く等の支援をおこなっている。
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望があれば、本人と一緒に買い物に出かけ、使えるようにしている。		希望者には家族に同意を得て現金を持っていただいている。
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気軽に歩いて出かけられる場所が近隣になく、車での外出に限定されている。		ユニット間、デイと連携をとり、外出の機会をふやしようにしている。希望者がいれば可能な限り買い物や外出に出かけるようにしている。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族に協力を得て外出する機会を持っていただけるよう提案している。少人数でかけることもあるが頻度は少ない。		乗船や動物園など計画したが、インフルエンザの関係で中止にした。幼児と一緒に遠足に出かけた。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や暑中見舞いを手作りして家族や知人に出している。本人からの希望や状況に応じて電話をかけてもらっている。		本人当ての荷物が届いた時には可能であれば本人と一緒にお礼の電話を掛けている。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に挨拶をしたり、近況を伝えたり、居室に案内し、お茶をだしてくつろいでもらうなど雰囲気づくりにつとめている。		家族の宿泊を受け入れている。
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 5 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修をおこない、拘束のないケアの重要性を認識し取り組んでいる。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中生活時間帯は施錠はしていない。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ホールには職員が出来る限り配置、他の職員とも連携をとりさりげなく見守りができるように配慮している。		日中ホールには1人職員がおり、転倒等の事故が無いように見守りを行っている。
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	生活の場であることを感じられるような空間作りにつとめたうえで状況に応じて安全にすごしていただけるように努めている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救命講習や応急手当についての研修を行っている。マニュアルの整備や見直しも順次行っている。		ヒヤリハット、事故報告書を回覧し、対策について周知できるようにしている。
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全職員対象に救命講習をおこなっている。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を行っている。地域の協力を得て、緊急連絡網を作成している。		緊急連絡網、マニュアルの作成。消防署の講習会に参加し会議で伝達している。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒や急変に「対するリスクについては十分に説明したうえで本人らしい生活の継続について家族の意見も聞きながら支援している		状況の変化や心配なことなど、その都度家族に連絡するようにしている。
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	主治医や訪問看護師と連携し、家族と早期に連絡を取り適切に対応できるようつとめている。		必要時には迅速に受診していただけるよう対応している。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師より薬剤管理の説明をうけて服薬の支援と全身症状の観察をおこない、変化があるときは主治医に相談している。		確実に服薬出来るよう、氏名、日付をいれ一包化している。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給や食生活に注意し、必要に応じて下剤も使用しながら便秘の予防に努めている。		個別にヨーグルト、寒天茶等をとっていただき自然に排便できるよう支援している。
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	義歯の洗浄やうがい、歯磨き等個々の状況に応じて支援している。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は1200～1500CCを目標にすすめている。食事は管理栄養士がメニューをたてバランスよく摂取できるよう配慮している。		食事量・水分量はチェックシートで確認。寒天茶等で飲みやすい工夫をしている。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザワクチン接種、うがい手洗いの励行。発生時のマニュアルを整備している		回覧で注意喚起している。アルコール消毒の徹底。家族に手洗い、消毒の依頼。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理は厨房で一括調理しているので衛生管理を徹底している。ホームにおいても用具の消毒や食材の安全な管理に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の外内にベンチを設置し気軽に休憩できるようにしている。花やホームの新聞、作品をかざり、明るい雰囲気づくりをこころがけている。バリアフリーで安全に移動できるよう環境整備している。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然光がはいり、時間や季節の移ろいを感じられる空間作りにつとめ、植物や飾りでいごちよく過ごしていただけるよう工夫している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人用や三人用のソファををしつらえ気分におうじてくつろげる場所を用意している。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの家具や本人が大切にしているもので本人らしい居室となるよう入居時に家族に説明している。		入居後も本人の生活に合わせた電化製品・家具等を準備していただいている。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	不快なおいや湿度、温度に注意し、喚起にも配慮している。		換気・消臭をこまめに行っている。
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで手すり等も設置し、福祉機器も利用し、自立した生活を援助している。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	わかりやすい案内の掲示物や声かけの工夫をしている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベンチや花をうえ、外にでる楽しみが持てるように工夫している。		畑や実のなる木を植え、庭にでる楽しみを作っている。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
	↓○印欄
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
項目	14 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

認知症を抱え、身体に不安があっても、主治医や認知症専門医、訪問看護師等と連携し、本人らしい生活の継続ができるよう、家族と共に本人を支援することを目標に取り組んでいる。

評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV－1. その人らしい暮らしの支援		
－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	2 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5 5 項目/5項目)について

理念については、職員はもとより、利用者や家族、また地域の方々にむけても機会をつくり、共有できるよう働きかけている。認知症ケアの担い手としての地域での役割を認識し、気軽に相談に来てもらえるような施設作りを目指していきたい。少しずつではあるが、地域の方や、幼児とも交流の機会を広げている。利用者の個々の尊厳に向け理念を軸におき、職員全体でケアの質の向上に今後も取り組むように努めていく必要がある

II 安心と信頼に向けた関係作りと支援 (2 項目/2項目)について

相談には時間をかけ本人や家族の不安の軽減に努めている。一方的に支援されるだけでなく、個々の状況にあわせて力を発揮できるよう関わりを深めていきたい。本人や家族の思いを尊重し、医療とも連携を取り、最期まで安心して暮らしていただける様に支援していきたい。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4 項目/4項目)について

本人の生活史や嗜好を知り、ケアにいかしている。介護計画作成時にアンケートで家族の意向を聞く機会をもっている。本人の思いを知る努力をし、「その人ならではのケアプラン」に沿った支援を展開できるよう個々の能力も高めていきたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (5項目/5項目)について

日常的に気軽に外出したり、個々のニーズに十分に対応できていない。徐々にではあるが、ユニット間やデイとも連携し外出の機会を増やしている。主治医や訪問看護師との連携を密にし、適切な受診や相談の援助を行い、健康に生活が継続していただけるよう支援していきたい。

V サービスの成果に関する項目について

個々のペースや思いを大切に、生き生きとした暮らしができるよう、個別の活動の支援など、柔軟に対応できるよう更に努めていく必要がある。(人員配置、ユニット間、デイとの連携)職員のストレスの軽減や、やりがいにつながる待遇や研修の整備を継続して行っていく必要がある。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 高齢者グループホーム南志賀の里

評価年月日: 21 年 1 月 12

前回評価年月日: 21 年 1 月 21 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
5		地域との付き合い	22. 3~23. 2	自治会の回覧でのお 便りの配布		
6		事業所の力を活かした地 域貢献	22. 3~23. 2	職員によるキャラバ ンメイトの受講		
10		権利擁護に関する制度の 理解と活用	22. 3~23. 2	内部研修		
13		運営に関する利用者意見 の反映	22. 3~23. 2	介護相談員の再開 要請		
15		運営に関する家族等の意 見の反映	22. 3~23. 2	家族会の開催		
19		職員を育てる取り組み	22. 3~23. 2	研修計画の立案と研 修の実施		
30		馴染みの人や場との関係 継続の支援	22. 3~23. 2	個別の外出支援		
47		重度化や終末期に向けた 方針の共有	22. 3~23. 2	適時の話し合いと書 類等の整備		
48		重度化や終末期に向けた チームでの支援	22. 3~23. 2	研修と書類等の整備		
52		日々のその人らしい暮 らし	22. 3~23. 2	「その人ならではのプ ラン」の立案と実施		